

平成28年度予算見積調書

課室名：畜産安全課
 担当名：畜産振興担当
 内線：4193

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B33	「彩の国地鶏タマシャモ」血統更新事業			一般会計	農林水産業費	畜産業費	畜産振興費	畜産経営改善対策費	
事業期間	平成27年度～平成32年度	根拠法令	養鶏振興法				戦略項目	08	埼玉農業の競争力強化
							分野施策	030201	収益力ある農業の確立
<p>1 事業の概要</p> <p>彩の国地鶏タマシャモの生産効率を向上させるため、血統を更新するとともに、機械整備を行いヒナの安定供給を図る。</p> <p>また、農業高校と連携して鳥インフルエンザのリスク回避を行う。</p> <p>(1) 彩の国地鶏タマシャモ開発研究事業 6,008千円</p> <p>(2) 農業高校連携推進事業 429千円</p>				<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容</p> <p>農業技術研究センターが飼育する彩の国地鶏タマシャモの種鶏は血縁が濃くなり、産卵率や病気への抵抗力が低下し、ヒナの生産効率が悪化している。そこで、他系統のシャモを導入してタマシャモの血統を更新するとともに、効率的生産のための機械整備を行い、ヒナの安定供給を図る。</p> <p>また、農業高校と連携し、鳥インフルエンザのリスク回避のための種鶏の分散飼育を行い、タマシャモの維持及び振興を図る。</p> <p>ア 彩の国地鶏タマシャモ開発研究事業 6,008千円 他系統シャモ導入による血統更新、低コスト簡易鶏舎モデル作成</p> <p>イ 農業高校連携推進事業 429千円 農業高校における種鶏の分散飼育</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>平成28年度 彩の国地鶏タマシャモ開発研究、種鶏分散飼育、設備修繕</p> <p>平成29年度～ 彩の国地鶏タマシャモ開発研究、種鶏分散飼育</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>血統更新によって生産効率が改善し、ヒナの安定供給が図られる。また、簡易鶏舎の普及によって新規タマシャモ農家の参入を促す。</p> <p>さらに、分散飼育によって鳥インフルエンザからの危機回避が図られる。</p> <p>平成26年度 36,450羽 平成32年度 40,000羽</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況</p> <p>彩の国地鶏タマシャモ普及協議会（生産者、食鳥処理業者、販売業者、行政機関）と連携し、タマシャモの生産拡大を推進する。</p> <p>また、農業高校と連携してタマシャモの維持及び振興を行う。</p>					
<p>2 事業主体及び負担区分 (県10/10)</p>									
<p>3 地方財政措置の状況 なし</p>									
<p>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.3人=2,850千円</p>									
財 源 内 訳									
予算額								一般財源	前年との 対比
決定額	6,437							6,437	6,065
前年額	12,502							12,502	